

令和８年度第Ⅰ回清水町子ども・子育て支援会議【会議録】

日時 令和８年７月２２日(日)１８時３０分～１９時２２分

場所 清水町保健福祉センター ２階 会議室

■ 出席者

委員 西田茂生 小副川 浩 佐々木忠光 澤山直樹 上谷明美 堀 敦子
新井田典子

事務局 安ヶ平課長 寺岡参事 高橋補佐（子育て支援） 樋口補佐（児童保育）

傍聴者 ０人

Ⅰ 開 会 （安ヶ平課長）

ご案内の時間となりましたので、ただ今から令和８年度第Ⅰ回清水町子ども・子育て支援会議を開催いたします。

この会議につきましては、別紙の会議要綱に基づき、保育施設や子育て支援事業等の定員の設定や計画の進捗状況に対し、委員のみなさまからご意見をいただくものです。会議録は町のホームページにおいて公表させていただきますので、あらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。

２ 委嘱状交付（安ヶ平課長）

本日お集まりいただいた委員の皆さまの委嘱についきましては、机上に委嘱状をご用意させていただきましたので、略式ながらこれをもちまして委嘱状の交付とさせていただきます。

３ 委員・庶務紹介（安ヶ平課長）

ここであらためて、委員の皆さまと庶務を紹介いたします。

（委員、庶務の氏名を紹介する。）

４ 会長・副会長選出（安ヶ平課長）

では、会長・副会長の選出に入ります。本会議の議長は会長が務めるところですが、本日はⅠ回目でありますので、会長・副会長の選出までは私が務めます。会長・副会長は互選で選出することになっていますが、どのように選出したらよろしいかお諮りします。

（上谷委員）事務局案はいかがでしょうか。

（安ヶ平課長）ありがとうございます。事務局案としましては、会長に清水小学校校長の西田委員、副会長に主任児童委員の堀委員にお願いしたいと考えます。よろしければ、拍手をもってご承認下さい。

（委員全員より拍手あり）

５ 会長あいさつ

（安ヶ平課長）承認ありがとうございます。ここで、西田会長よりご挨拶をお願いいたし

ます。

（西田会長）

皆さんこんばんは。選任いただきました清水小学校校長の西田と申します。今日はお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。議事が2つあると伺っております。事務局から説明があると思いますが、みなさまそれぞれお立場があると思います。それぞれのお立場で、率直なご意見いただければ、議論が深まると思います。正解を探したくなりますが、正解はないと思います。率直なご意見いただければと思います。よろしくお願いいたします。

6 議 事

（1）第3期清水町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

（西田会長）では議事を始めます。（1）第3期清水町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。

（樋口補佐）資料1「第3期清水町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」をもとに説明を行う。

（西田会長）説明ありがとうございます。それでは質疑に入りますが、委員のみなさまからご意見をいただきたいと思います。何かご意見ございませんか。

（上谷委員）一時保育と誰でも通園制度の違いがわからないところですが、ご説明下さい。

（西田会長）事務局より説明をお願いします。

（樋口補佐）

資料2の22ページに認定こども園の詳細が記載されているのでご覧ください。一番下の欄が誰でも通園制度、その上の欄が一時保育の内容が記載されています。それぞれの利用可能時間や年齢基準、回数及び時間数、金額をご確認下さい。誰でも通園制度は国主導で進めた事業で、こども園等に通っていないこどもを対象に、預ける要件はなく、少しでも通ってもらって、こども・保護者と社会とのつながりを持たせようとしている事業です。

（寺岡参事）

補足いたしますと、一時保育の要件は保護者が就労により保育できない場合に預かるとしている自治体が多いなか、清水町においてはその要件は緩く、さまざまな理由でお預かりしています。ですから誰でも通園制度との棲み分けがあまりないといった状況です。国において誰でも通園制度を進めた理由は、こども園に通っておらず、孤独に保育している保護者と社会をつなげる、伴走者のいる育児をしていただきたいという意味合いがあるようです。小さい町ですので保護者と保健師は密につながっており、国が思うニーズはあまりないと考えており、棲み分けがわかりづらい状況になっています。（預けづらい環境を払拭するという）目的は一時保育事業で達成できていると感じますが、今後も事業を続けてまいります。

（西田会長）他にございませんでしょうか。

（澤山委員）清水町の子育て支援事業が優れているということをもっと発信することができたらと感じます。

（寺岡参事）発信については詳細の発信が課題だと感じているところです。

（西田会長）他になれば、議事を次に進めます。

（２）清水町の子育て支援について

（西田会長）清水町の子育て支援について、説明をよろしくお願いします。

（高橋補佐）資料２「清水町の子育て支援について」をもとに説明を行う。

（西田会長）それでは質疑に入ります。委員のみなさまからご意見いただきたいと思いますが、どなたかご意見ありませんか。

（澤山委員）出産祝金でお渡しする「ハーモニーカードギフト券」について、過去はおむつ券だったと記憶しているのですが。

（安ヶ平課長）過去はおむつ券をお渡ししていましたが、出産祝金という形に変えたところですが。ハーモニーカードギフト券はハーモニーカード商店会に加盟しているお店でしか使えないものとなっております。出産祝金の現金とギフト券の割合も当初と比べて変更しており、より現金の割合を多くした現在の割合となっております。

（上谷委員）ギフト券の有効期限６か月を少し延ばすことはできないのでしょうか。

（安ヶ平課長）ギフト券を発行するにあたり、決まりがあるようで、それより長くできないとうかがっています。

（澤山委員）出産祝金をもらう保護者が一番購入するであろうおむつなどこども用品をギフト券で買えない（買う商店がない）のが不満です。

（佐々木委員）「出産祝金」という名称なのに、ギフト券ではおむつが買えないのはおかしいなと感じます。

（上谷委員）せめて子供用品が買える商店があればよいですね。

しばらくのあいだ、ギフト券について雑談

（西田会長）ほかなければ、次の議題に移ります。

（３）その他

（西田会長）その他、何か委員のみなさまからございませんか。

（澤山委員）子育て支援センター事業で、げんきひろばがこども園で実施されているというのですが、町としてはげんきひろばに参加してほしいのか、こども園に来てほしいのか、こういったイメージを持たれているのでしょうか。

（寺岡参事）げんきひろばの目的は変わっておらず、園に入っていないこどもと保護者に参加してもらい、子育ての悩み相談を受け、場合によっては専門機関につなぐといった役割を持って、実施しています。過去は１日２０組ほどの参加者がいましたが、現在は３組ほどの参加にとどまっており、こども園入園の低年齢化が要因と考えています。

（澤山委員）とてもよい事業だと感じており、御影でも実施可と伺っているので実施していただけると嬉しいです。

ここで澤山委員が参加している会の事業について周知あり

（西田会長）それではこれで議事を終了します。みなさんご協力ありがとうございました。

7 その他

（安ヶ平課長）西田会長、議事進行ありがとうございました。

次回の会議は来年２月頃開催を予定しておりますので、時期が近づきましたらご連絡申し上げます。また、本日の会議の報償については、追って銀行口座の方に振り込みさせていただきます。

8 閉 会（安ヶ平課長）

以上を持ちまして、令和８年度第１回子ども・子育て支援会議を終了いたします。本日はご出席ありがとうございました。

終了 19:22